

ブックレビュー/編集後記

steel. The possibilities of occurring of various kinds of transformation during spraying as well as during post

spray heat treatment has been analysed as a cause of variation in distribution of property across the coating.

会員には「鉄と鋼」あるいは「ISIJ International」のいずれかを毎号無料で配布いたします。「鉄と鋼」と「ISIJ International」の両誌希望の会員には、特別料金 5 000 円の追加で両誌が配布されます。

ブックレビュー

●研究者のための資料写真の撮り方●

鈴木昭夫, 吉田 成, 岡宮誠一, 田口榮一, 鷲野谷秀夫 共著
1991 年 6 月 理工学社発行
B5 判, 201 頁, 定価 (税込) 3,296 円

学術研究のための資料撮影技術が簡単にマスターできます!

学術研究にとって資料写真は切っても切れないものであります。また、専門家に依頼することなく、研究者自身が最適の条件で撮影できれば、たいへん有利に研究を進めることができます。

本書はこれらを満たすために、下記に示すようないろいろな分野における学術写真撮影技術がわかりやすく解説されております。ご承知のとおりカメラや感光材料の技術進歩は目覚ましく、常に進歩に追随した技術に対応していく必要があります。その点からも本書を一読されることをお勧めいたします。

収録されている項目は、考古学資料・歴史資料・工学資料・美術資料・医学資料・写真の保存の 6 項目で、内容は、基礎的な撮影技術から、X 線写真・赤外線写真・高速度写真・顕微鏡写真などの専門領域におよび、執筆はそれぞれの専門家が担当されています。
((社) 日本鉄鋼協会 下川成海)

●編集後記●

新しい年度の第一号の「鉄と鋼」をお届けします。昨年十月から編集の体制が大幅に変わりました。それによって従来は和文会誌分科会の仕事が、論文審査に 90%、その他企画的な業務 10% という内容から、論文審査 30%、会誌の企画、改善策の検討など 70% というような割合に変化しました。

来月号からは、論文の掲載順もある程度内容に配慮したものになる予定です。企画記事(解説・講義・談話室など)を検討するのも含めて、論文の掲載順も決めるなど、本当の編集業務らしくなってきました。

大学の人、企業の技術者といった雑誌づくりの素人集団のボランティアな活動で支えられているわけですが、今年から、広報の編集などに経験の深い人のお知恵も拝借しようというわけで、企業の広報誌の編集に携わっている方々をお願いして輪番で和文会誌分科会にお一人ずつ参加して、ご意見を承ろうということになりました。

どこの学会でも、論文を読む会員、読める会員の比率が下がり、論文の発表数とその質が学会の活力のバ

ロメーターであるにもかかわらず、論文誌の旗色はよくありません。「鉄と鋼」は会誌に論文を掲載している会員一万人クラスの学協会誌としては珍しいものかも知れませんが、論文を会誌に掲載することが会員のためにならないとまで考えたくありませんが、本年の課題は、来年一月号から判のサイズを現行の B5 から A4 に変更するのに際して、せめてレイアウトの面でも会員によるこんでいただける会誌にするために工夫をしたいと思っています。なお A4 化に伴って会誌の表紙のデザインを変更することになり、現在、デザインの募集を行っています。毎月一万部以上発行され、十年以上は基本デザインは変更せず用いられるでしょうから、腕とセンスとに自信のある方は是非チャレンジしていただくとよいかと思われまます。

最後になりましたが、今月号から新しく「現場技術報告」の枠を設けました。いかがでしょうか。投稿の際、刷り上がりでつぶれてしまう小さな字を使用した図表であるかどうかは是非チェックして下さい。

(J. K.)